



2012年 9月



アフガン ニュース

最新ニュース

シンガポールで開かれたファティミ大使の歓迎会におけるアフガンーシンガポール関係の事実



アフガニスタンとシンガポールの外交関係は2006年に成立しました。

シンガポールはアフガニスタンの平和と開発事業、特に能力育成において重要な協力国です。



カルザイ大統領、 新国防相・内相・国家保安局長官らを承認

2012年9月16日に大統領官邸で行われた式典において、ハミッド・カルザイ大統領は、国防大臣にビスミッラー・モハマディ氏、内務大臣にゴラム・ムシュタバ・パタング氏、国家保安局長官にアサドゥッラ・ハリド氏を承認した。新たに承認された3氏は神・国民・政府・省庁に対する忠誠を誓い、カルザイ大統領によって読み上げられた就任の宣誓を復唱した。カルザイ大統領は、アフガニスタン共和国及び国民に仕える彼らの成功を祈った。彼らの新任命は、大統領官邸での承認1日前にアフガニスタン議会によって承認されていた。(写真下：第一副大統領モハメッド・カシム・ファヒーム元帥(中)、モハンマディ内務大臣(左)

パタング国防大臣(右)

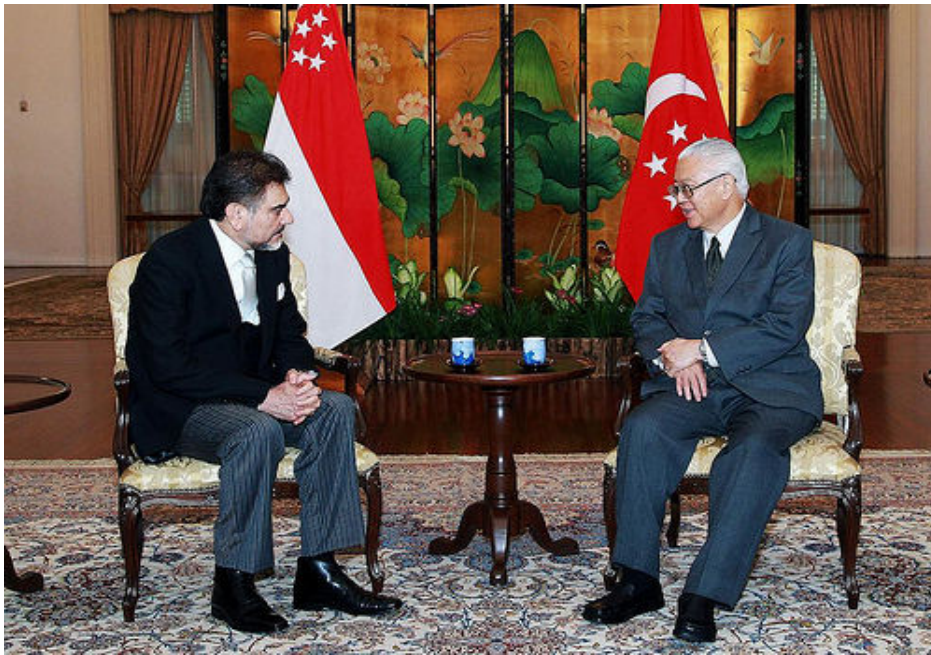
ファティミ大使がシンガポールを訪れ、信任状を贈呈、ヤム大統領と重役たちと面会する

8月28日から9月5日までサイド・ムハンマド・アミン・ファティミ大使はシンガポール共和国を訪問し、トニー・タン・ケン・ヤム大統領に同国非常駐大使としての信任状を捧呈するとともに政府官僚と面会した。今回の大使による同国初訪問は、非常に貴重な経験であったと同時に、二カ

(Continued on page 2)

今号のコンテンツ

最新のニュース Pg.1-4



国関係のさらなる強化に向けての記念すべきものとなった。

8月30日にヤム大統領は特別式典においてファティミ大使と面会した。続く信任状捧呈式では、大使は大統領との面会を大変名誉なことであると述べた。まず始めに、ファティミ大使は大統領との今回の貴重な面会の機会に深謝し、アフガニスタン・イスラム共和国の国民と政府を代表してシンガポール共和国の平和と発展に寄与する同国の援助、特に能力育成分野への援助に対して深い感謝の意を表した。

大統領は、シンガポール共和国の代表として同国のアフガニスタンでの取り組みをアフガニスタン国民に対する責務であり、今後も継続していくことを表明した。さらには、アフガニスタンの平和と安定は世界の平和と安定のために最も重要なことで



であると述べた。

8月31日、ファティミ大使はシンガポール共和国のグレース・フー第二外務大臣兼環境水資源第二大臣と面会した。これは大使にとって今回の非常駐大使信任状捧呈のためのシンガポール共和国訪問中最も重要な機会の一つだった。

ファティミ大使はフー第二大臣との面会において、アフガニスタン・イスラム共和国の国民と政府を代表し同国の平和と発展に大きく寄与するシンガポール共和国の寛容で揺るぎない援助に対し深く感謝の意を表した。そしてこの活動は国内の様々な部門においての大きな発展につながると述べた。また、アフガニスタンに関する東京会合の成功についても触れ、これは援助への依存状態から脱却すると同時にアフガニスタンの完全なる安全への移行を達成するきっかけになると話した。さらに大使は、潜在的なシンガポールの民間部門による特に自然資源分野でのアフガニスタンへの投資を歓迎した。第二大臣はこれについて大変な関心を示し、パートナーシップの可能性を今後省内で検討することを述べた。現時点でのシンガポールとの協力関係については、フー第二大臣は引き続き今後も共に歩んでいく姿勢であることを表した。

大使のシンガポール訪問中には、サミュエル・タン外務省中東・北中央アジア長官とマイケル・タン代理総括官と面会する機会を得た。彼はシ

ンガポールの効果生成助成に直接影響力を持つ人物である。彼に対して直接に深甚なる感謝の意を表した。面会では、現政府樹立以来のアフガニスタンの業績、アフガニスタンに関する東京会合とその意義、そして防衛問題の移り変わりを含めた共通の関心に幅広く言及した。そして、タン長官は将来、シンガポール戦略機関において大使とさらに話を進めることを約束した。

シンガポール政府官庁に訪れる機会を得て、大使はアフガニスタンの政府官僚のすばやくかつ専門的な成長に寄与した政府官庁と職員の役割に謝意を表した。そして、政府官庁の代表者たちは、既に築き上げられているアフガニスタン政府官庁との深い繋がりを今後さらに強化すると共に、アフガニスタンに対する援助により力を入れていく旨を伝えた。

さらには、世界的な有名観光地でありシンガポールの国内財政に大いに貢献しているセントサ島への訪問は大使の訪問中の主要な目的の一つだった。この訪問は、シンガポールがたくさんの国々がひしめく島々の小さな土地であり天然資源も取れないにもかかわらず、強い輸出と観光業によって世界の経済大国となったことを認識する良い機会になったと同時に、国独特の特性に投資するというアフガニスタンの潜在的可能性を見出す素晴らしいきっかけとなった。

継続した公正な教育の機会への努力を引き続き強める

220の遠距離通信塔が民間企業の保障なしに通信省により郊外地に立てられました。この計画により、住民44万人が恩恵を受ける見込みである。この計画に参加している会社は195塔を建設予定のアフガンテレコム、9塔建設予定

(Continued on page 3)

のアフガンワイヤレス、16塔建設予定のMTNで、全ての遠距離通信塔は今後18ヶ月以内に完成する予定である。

カブールで開かれた第二回アフガニスタン化学工学国内会議



第二回アフガニスタン科学工学国内会議（ANCSE）が今月2日間に渡りカブールで開かれました。この会議は、科学と工学教育のためのアフガニスタン協会、アフガニスタン遠距離通信規制公社、通信省と専門的サポートによって開催され、カブール大学、ナンガルハール大学、バルク大学教授、科学・工学の様々な分野から専門家、外国からのアフガニスタン研究者、科学者、大学生と多くの来場者が出席しました。さまざまな研究グループが、通信テクノロジー、管理、コミュニティー、環境、農業、健康、教育、建設に関する学術論文を発表しました。

ヘラートにできた鉄加工の工場



巨大鉄処理溶解工場が、今月開催された式典で、ヘラート州工業団地に正式にオープンした。この式典には、アノワルール・ハク・アハディ通商産業大臣、アブドゥル・ハディ・アルガンディワル経済大臣、ダウド・シャー・サバ州知事が出席した。現在、当工場では一日約80トンの鉄が製造されているが、一日400トンの鉄を製造することを可能とするよう調整していく予定である。



イベント情報

よこはま国際フェスタ2012

2012年10月20日・21日

10:30 - 16:00

像の鼻パーク(みなとみらい線日本大通駅より5分)

世界ふれあい祭

2012年10月27日・28日

10:00 - 16:00

国営昭和記念講演 (立川市)

みどりの文化ゾーン

「秋の楽市」会場内

第4回港区ものづくり・商業観光フェア

2012年11月9日・10日

10:00 - 19:00

東京ミッドタウン

106-0041 東京都港区麻布台2-2-1

在日本国アフガニスタン大使館

電話・ファックス

Tel: 03-5574-7611 ・ Fax: 03-5574-0195

ウェブサイト

www.afghanembassyjp.org



Contact Us

当大使館のニュースレターに関するご意見、ご質問等ございましたら、大使館広報部 Jason Pratt宛に電子メールにてご連絡下さい。

pratt@afghanembassyjp.org

Facebook: www.facebook.com/afghanembassyjp

afghanembassyjp

Twitter: @afgembtokyo



アフガニスタン大使館ポッドキャスト

